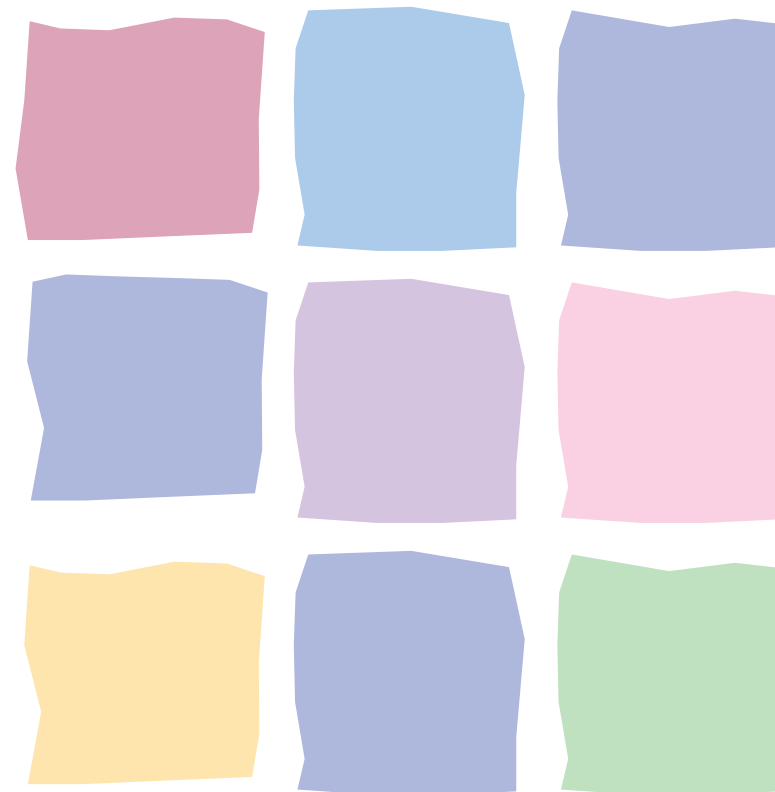
Canon

JPN

スキャナドライバガイド

Satera MF4100
シリーズ

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

- 各種機能の基本操作
- メンテナンス
- 各種機能の設定
- 仕様

操作ガイド（基本編）

- 各種機能応用操作
- ジョブの確認／削除
- 各種レポート／リスト

操作ガイド（応用編）

- スキャナの操作方法

スキャナドライバガイド（本書）

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

本書の使いかた

トップページについて

一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。

「本書の使いかた」のページを表示します。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

章扉について

一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。

章の目次が記載されています。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

目次
索引

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキーとコンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ]
- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

商標および著作権について

商標について
Canon、Canon ロゴおよび Satera はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項
本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

1 お使いになる前に

目次
索引

困ったときの参照先

ドライバのインストール時、または本製品の使用時にトラブルが起きた場合は、以下を参照してください。

スキャナドライバガイド（本書）

「第 3 章 困ったときには」を参照してください。

操作ガイド（基本編）

「第 11 章 困ったときには」を参照してください。

操作ガイド（応用編）

「第 5 章 困ったときには」を参照してください。

Readme.txt ファイル

ScanGear MF および MF Toolbox 使用時の留意点（ヒントおよび制限事項）については、それぞれのアプリケーションに付属の Readme.txt ファイルを参照してください。

カスタマーサポート

問題が解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター(巻末参照)にご連絡ください。

動作環境

ハードウェア環境

- IBM 機、または IBM 互換機
- USB ポートが装備され、USB クラスドライバがインストールされているコンピュータ

Microsoft Windows 98/98SE
CPU：Intel® Pentium® 90 MHz プロセッサ以上
メモリ：RAM メモリ 128 MB 以上

Microsoft Windows Me
CPU：Intel® Pentium® 150 MHz プロセッサ以上
メモリ：RAM メモリ 128 MB 以上

Microsoft Windows 2000 Professional
CPU：Intel® Pentium® 133 MHz プロセッサ以上（USB 1.1）
Intel® Pentium® II 以上（USB 2.0）
メモリ：RAM メモリ 128 MB 以上

Microsoft Windows XP（32 ビット バージョン）
CPU：Intel® Pentium®/Celeron® 300 MHz 以上（USB 1.1）
Intel® Pentium® II 以上（USB 2.0）
メモリ：RAM メモリ 128 MB 以上

メモ
USB 2.0 Hi Speed をご利用いただくためには、CPU が Intel® Pentium® II 以上、RAM が 128 MB 以上で、Windows XP SP1 以降または、Windows 2000 SP4 がインストールされてある必要があります。お使いのコンピュータが上記の条件を満たしていて、USB 2.0 用ドライバがインストールされている場合は、USB 2.0 をご利用になれます。

インストールの確認をする

ドライバが正常にインストールされていることを確認してください。

1. **[スキャナとカメラ]フォルダ(Windows 98/2000では[スキャナとカメラのプロパティ]画面)を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします。(Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします。)
スキャナドライバのアイコンが表示されていることを確認してください。

メモ

ドライバがインストールされてない場合は、スタートアップガイドの「ソフトウェアのインストール／アンインストール」「インストール手順」を参照し、インストールしてください。

2. **デスクトップに [Canon MF Toolbox 4.9] のアイコンが表示されていれば、MF Toolbox 4.9 は正常にインストールされています。**

2 原稿をスキャンする

操作パネルのキーを使って読み込む

本製品の操作パネルを使って原稿を読み込み、読み込んだデータをコンピュータに取り込むことができます。

メモ

本製品はネットワーク上のスキャンには対応していません。USB ケーブルで直接コンピュータに接続してお使いください。

1. 原稿をセットします。

2. 操作パネルの［スキャン］を押します。

3. ［スタート］を押します。

使用するプログラムをたずねてきたら、「MF Toolbox Ver4.9」を選択してください。設定に従って原稿が読み込まれます。

読み込みが終了したら、［マイ ドキュメント］内の［マイ ピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、読み込まれた原稿が保存されます。

[スタート]を押したときの読み込みかたを設定する

初期設定では、操作パネルの[スタート]を押すと、MF Toolbox の[保存]をクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。以下の手順で MF Toolbox または、他のアプリケーションそれぞれで[スタート]を押したときの読み込み設定を変更することができます。

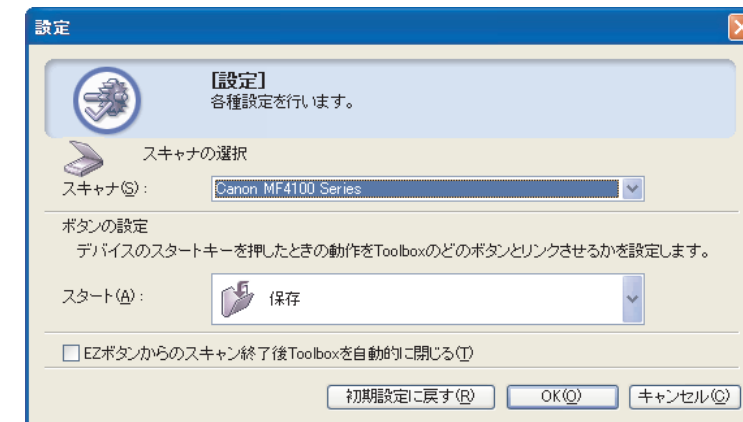
■ MF Toolbox に登録しているアプリケーションに設定する

1. Windowsのデスクトップで、[Canon MF Toolbox 4.9]アイコンをダブルクリックして、MF Toolbox を開きます。

タスクバーの[スタート]から、[(すべての)プログラム]→[Canon]→[MF Toolbox 4.9]→[Toolbox 4.9]をクリックして開くこともできます。

2. マークを選択するボタンの上にドラッグします。

選択したボタンの上に マークが表示されます。

また下記の方法でも、同様に設定可能です。
MF Toolbox で[設定]をクリックし、[設定]画面を開きます。プルダウンリストから、[スタート]に割り当てる動作を選択し、[OK]をクリックします。

■ MF Toolboxに登録している以外のアプリケーションに設定する

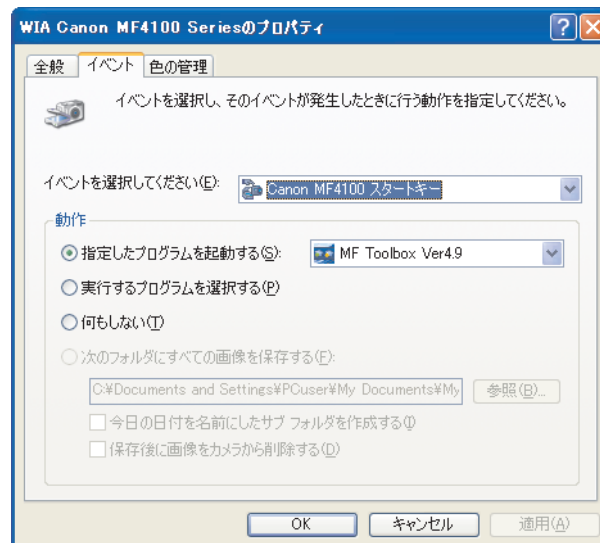
1. **［スキャナとカメラ］フォルダ（Windows 98/2000では［スキャナとカメラのプロパティ］画面）を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。（Windows 98/Me/2000 では［スタート］→［設定］→［コントロール パネル］→［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。）

2. **スキャナドライバのアイコンをクリックします。**

3. **［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。（Windows 98/2000 では［プロパティ］をクリックします。）**

4. ［スタート］に割り当てる動作を指定します。

Windows XP では
［イベント］タブを選択し、［イベントを選択してください］のプルダウンリストから［Canon MF4100 スタートキー］を選択し、［動作］で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 では
［イベント］タブを選択し、［スキャナ イベント］で［Canon MF4100 スタートキー］を選択し、［次のアプリケーションで送る］で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。

 メモ

スキャナのプロパティ画面で指定した設定がすぐに適用されない場合は、USB ケーブルを抜いて差し込みなおすか、コンピュータを再起動してください。

MF Toolbox を使って読み込む

MF Toolbox のボタンを使って原稿を読み込むことができます。

1. **原稿をセットします。**

2. **Windows のデスクトップで、[Canon MF Toolbox 4.9] アイコンをダブルクリックして、MF Toolbox を開きます。**

タスクバーの［スタート］から［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.9］→［Toolbox 4.9］をクリックして開くこともできます。

3. **目的に合った MF Toolbox のボタンをクリックします。**

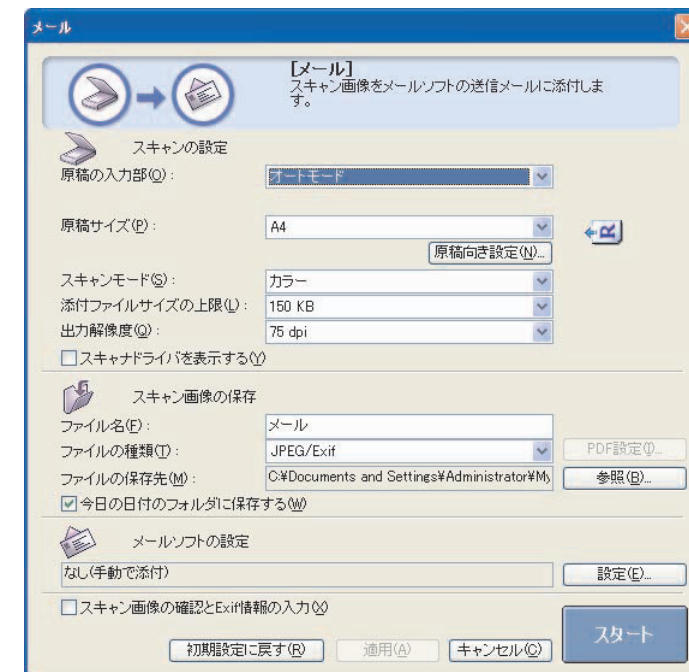
[メール]：原稿が読み込まれ、E メールソフトで作成したメールに添付されます。

[OCR]：原稿が読み込まれ、OCR ソフト（文字読み取りソフト）に読み込まれます。

[保存]：原稿が読み込まれ、保存されます。

[PDF]：原稿が読み込まれ、PDF 形式のファイルとして保存されます。

[スキャン -1]、[スキャン -2]：原稿が読み込まれ、登録したアプリケーションで表示されます。ボタン名は、直接入力して変えることができます。全角 4 文字（半角 8 文字）まで入力できます。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

例）［メール］画面

4. 必要に応じて設定をします。

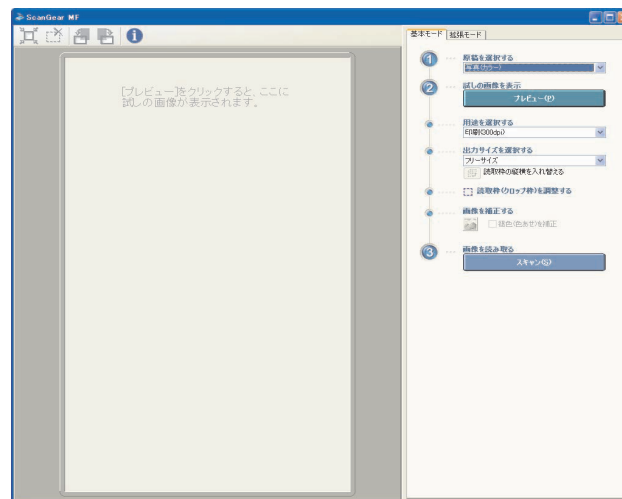
詳細については、「MF Toolbox を設定する」（→ P.2-9）を参照してください。

次回以降も同じ設定で読み込む場合は、［適用］をクリックしてから［スタート］をクリックします。

メモ

[スキャン -1]、[スキャン -2] では、それぞれ異なった設定を行うことができます。[適用] をクリックして設定を保存しておくと、次回以降に読み込みを行う際、その設定がそれぞれに有効になります。

5. ［スタート］をクリックします。

手順 4 で［スキャナドライバを表示する］にチェックマークを付けた場合は、［ScanGear MF］画面が表示されます。

6. 必要に応じて設定をします。

詳細については、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.2-17）を参照してください。

7. ［スキャン］をクリックします。

読み込んだ原稿は、［マイドキュメント］フォルダの中の［マイピクチャ］フォルダに保存されます。［今日の日付のフォルダに保存する］をチェックして読み込んだ場合は、［マイピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

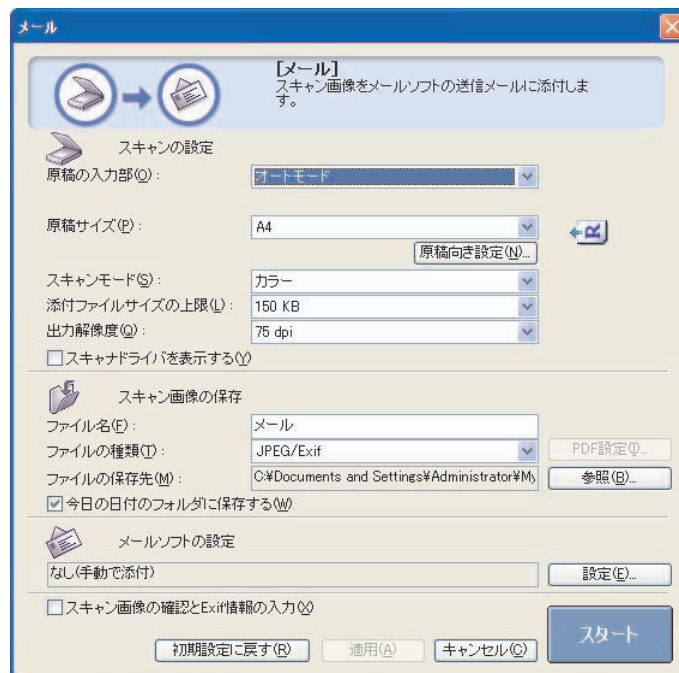
［メール］、［OCR］、［PDF］、［スキャン -1］または［スキャン -2］で保存先のアプリケーションを設定している場合は、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されたり、メールに添付されたりします。（→ アプリケーションの設定（メールソフトの設定）: P.2-12）

付属のユーザソフトウェアCD-ROMに収容されているアプリケーションをインストールすると、MF Toolbox のボタンに登録されます。

［OCR］： 読取革命 Lite

［PDF］： ファイル管理革命 Lite

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

MF Toolbox を設定する

例）［メール］画面

■ スキャナを設定する

スキャンモード、読み取り解像度、原稿サイズ、読み込んだ画像のファイルサイズを設定することができます。

［原稿の入力部］	［原稿台ガラス］、［自動給紙装置（ADF）］、または［オートモード］から選択します。

メモ

［オートモード］が選択されている場合は、ADF 内の原稿が自動的に読み込まれます。ADF に原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの原稿が読み込まれます。

［原稿サイズ］	読み込む原稿のサイズを選択します。［ユーザー設定（21.59 × 29.70 センチ）］を選択すると［原稿サイズの設定］画面が開き、サイズを自由に設定できます。

[原稿向き設定]　[原稿向き設定] 画面を開きます。この画面で、原稿の向きを指定できます。
[原稿の入力部] で [原稿台ガラス] が選択されている場合は、このボタンは設定できません。

(原稿の向き)　原稿を読み取る方向を示します。表示されるアイコンは、[原稿の入力部]、[原稿サイズ]、および [原稿向き設定] の設定によって異なります。

メモ

この設定は ADF 無しモデルでは、利用できません。

[スキャンモード]　スキャンモードを選択します。選択できるスキャンモードは、クリックした MF Toolbox のボタンによって異なります。

[白黒]：
白黒の画像（白黒 2 値の画像）として原稿を読み込みます。

[白黒（OCR)]：
OCR ソフトに適した白黒画像として原稿を読み込みます。

[グレースケール]：
グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）として原稿を読み込みます。写真の読み込みに適しています。

[カラー]：
カラー画像として原稿を読み込みます。

[カラー（雑誌、カタログ)]：
モアレ低減機能を使って、カラーで原稿を読み込みます。印刷物を読み込むときに発生する濃淡のムラや縞模様（モアレ）を軽減することができます。この機能を使うと、読み込み時間が長くなります。

[添付ファイルサイズの上限]

送信する画像のファイルサイズの上限（圧縮後）の目安を選択します。通常のメールメッセージを送るときには、この項目を [150 KB] に設定することをおすすめします。
この項目は、[メール] でスキャンし、[ファイルの種類] で [JPEG/Exif] を選択した場合のみ表示されます。

[出力解像度]　読み取り解像度を選択します。
[メール] で読み込んだ場合、選択できる解像度は [添付ファイルサイズの上限] の設定によって異なります。

[スキャナドライバを表示する]

チェックマークを付けると、[スキャンの設定] のすべての項目が無効になります。[スタート] をクリックすると、[ScanGear MF] 画面が表示され、読み込みの詳細な設定ができます。
[OCR] で読み込む場合は、この項目は設定できません。

スキャン画像の保存

読み込んだ画像のファイル名やファイルの種類、保存先を指定することができます。ファイルの種類に［PDF］を選択した場合は、ファイルの詳細設定を指定することもできます。

［ファイル名］　読み込んだ画像のファイル名を入力します。同じ名前のファイルが存在する場合は，ファイル名の後ろに「0001」から順に 4 桁の番号が付けられます。

［ファイルの種類］　読み込んだ画像の保存形式を指定します。

［BMP］：
ビットマップ形式

［JPEG/Exif］：
JPEG/Exif 形式
［スキャンモード］で［グレースケール］、［カラー］、または［カラー（雑誌，カタログ）］が選択されているときに有効になります。

［TIFF］：
TIFF 形式

［PDF］：
PDF 形式

［PDF（複数ページ）］：
複数の原稿を読み込んで、1 つの PDF ファイルを作成します。(→ 複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする：P.2-15)

［PDF（ページ追加）］：
MF Toolbox で作成された PDF ファイルの最後に、読み込まれた画像を追加します。

メモ

・各ボタンで保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG/Exif	TIFF	PDF	PDF（複数ページ）	PDF（ページ追加）
［メール］	・	●	・	●	●	●
［OCR］	●	●	●	・	・	・
［保存］	●	●	●	●	●	●
［PDF］	・	・	・	●	●	●
［スキャン -1］、［スキャン -2］	●	●	●	・	・	・

・［ファイルの種類］で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、または［PDF（ページ追加）］が選択されている場合、「画像サイズが大きすぎます」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、［出力サイズ］や［出力解像度］を低くして、読み込んだ画像のデータサイズを小さくしてください。（→ 出力設定：P.2-25）

［PDF 設定］　［PDF 設定］画面が表示され、PDF ファイルの詳細を設定できます。(→ 複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする：P.2-15）［ファイルの種類］で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、または［PDF（ページ追加）］が選択されている場合のみ、表示されます。

［ファイルの保存先］

［ファイルの種類］で［PDF（ページ追加）］以外が選択されている場合に、読み込んだ画像を保存する場所を表示します。保存先を変更するには、［参照］をクリックしてフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

［ファイルの追加先］

［ファイルの種類］で［PDF（ページ追加）］が選択されている場合に、［ファイルの保存先］の代わりにこの項目が表示されます。読み込んだ画像に追加する PDF ファイルを選択することができます。

［今日の日付のフォルダに保存する］

チェックマークを付けると、指定した保存先にその日の日付のフォルダが作成され、読み込んだ画像はこのフォルダに保存されます。

■ アプリケーションの設定（メールソフトの設定）

［OCR］、［PDF］、［スキャン -1］、または［スキャン -2］を使って読み込む場合は、読み込んだ画像を表示するアプリケーションを指定できます。［設定］をクリックして使用するアプリケーションを選択し、［開く］をクリックします。画面にアプリケーションのアイコンを直接ドラッグ＆ドロップして設定することもできます。

［メール］で読み込む場合は、読み込んだ画像を添付する E メールソフトを指定できます。MF Toolboxは、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、および Netscape Messenger などの E メールソフトに対応しています。［設定］をクリックして 使用する E メールソフトを選択し、［OK］をクリックします。

［なし（手動で添付）］と表示されている場合は、手動で画像ファイルを添付してください。

■ スキャン画像の確認と Exif 情報の入力（スキャン画像を確認する）

読み込んだ画像をサムネイルとして表示し、ファイルの種類と保存先を指定できます。

メモ

- ［OCR］で読み込んだ場合は、この項目は設定できません。
- ［PDF］では、読み込んだ画像の確認と保存先の指定のみができます。

［スキャン画像の確認と Exif 情報の入力］（［PDF］では、［スキャン画像を確認する］）を選択して［スタート］をクリックします。読み込みが終了すると、画像のサムネイルが表示されます。
サムネイル画像を確認してファイルの種類と保存先を指定し、［保存］または［転送］をクリックします。

［ファイルの種類］　読み込んだ画像を保存するファイルの種類を指定します。使用可能なファイルの種類については、「スキャン画像の保存」（→ P.2-11）を参照してください。

［Exif 設定］　［ファイルの種類］で［JPEG/Exif］が選択されている場合、［Exif 設定］画面が表示され、Exif 情報を設定できます。（→ Exif 設定：P.2-13）

［PDF 設定］　［PDF 設定］画面が表示され、PDF ファイルに詳細が設定できます。（→ 複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする：P.2-15）［ファイルの種類］で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、または［PDF（ページ追加）］が選択されている場合のみ、表示されます。

［ファイルの保存先］

読み込んだ画像の保存先を指定します。

［ファイルの追加先］

［ファイルの種類］で［PDF（ページ追加）］が選択されている場合に、［ファイルの保存先］の代わりにこの項目が表示されます。読み込んだ画像を追加する PDF ファイルを選択することができます。

［今日の日付のフォルダに保存する］

チェックマークを付けると、指定した保存先に今日の日付でフォルダが作成され、読み込んだ画像が保存されます。
［ファイルの種類］で［PDF（ページ追加）］が選択されている場合は、設定できません。

［保存］　読み込んだ画像を指定した場所に保存します。

［転送］　［メールソフトの設定］または［アプリケーションの設定］でアプリケーションを指定すると、［保存］の代わりに表示され、アプリケーションに読み込んだ画像を転送します。

［キャンセル］　操作を中止して直前の画面に戻ります。読み込まれた画像はすべて削除されます。

Exif 設定

Exif 設定では、JPEG ファイルにコメントや読み込んだ日付などの情報を追加できます。プルダウンリストから読み込んだ画像を選択して表示し、情報を追加します。

［基本情報］　画像を読み込んだときに自動取得した情報を表示します。

［拡張情報］　入力した追加情報を表示します。

［前回設定した入力内容を引き継ぐ］

チェックマークを付けると、前回と同じ設定で読み込みを行います。

アプリケーションから画像を読み込む

TWAIN または WIA（Windows XP のみ）対応のアプリケーションから画像を読み込み、アプリケーションで使用できます。この操作はアプリケーションによって異なります。ここでは、その一例を示します。

1. 原稿をセットします。
2. 使用するアプリケーションを起動します。
3. 読み込みコマンドを選択します。
4. スキャナドライバを選択します。

   Windows XPでは、ScanGear MFまたはWIAドライバを使用できます。

5. 必要に応じてスキャンの設定をし、［スキャン］をクリックします。

   詳細については、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.2-17）または「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」（→ P.2-36）を参照してください。

複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする

複数ページの原稿を読み込んで、1 つの PDF ファイルにまとめることができます。

1. **原稿をセットします。**

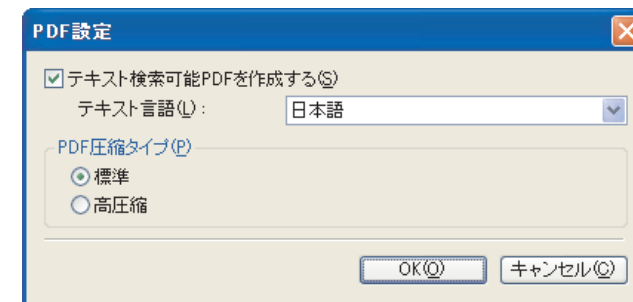
2. **デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.9］アイコンをダブルクリックし、MF Toolbox を開きます。**

タスクバーの［スタート］から［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.9］→［Toolbox 4.9］をクリックして開くこともできます。

3. **［PDF］をクリックします。**

4. **［ファイルの種類］で［PDF（複数ページ）］を選択します。**

5. **必要に応じて設定をし、［PDF 設定］をクリックします。**

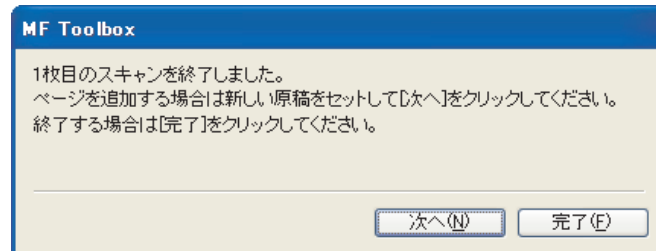
［PDF 設定］画面が表示されます。

6. **必要に応じて設定をし、［OK］をクリックします。**

［テキスト検索可能 PDF を作成する］：原稿の文字をテキストデータに変換し、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成します。

［テキスト言語］：読み込む原稿の言語を選びます。プルダウンリストから［日本語］を選択し、［スキャンの設定］で［出力解像度］を［300 dpi］以上に設定すると、文字の認識がより正確になります。(→ スキャナを設定する：P.2-9)

［PDF 圧縮タイプ］：［高圧縮］を選択すると、写真やイラストなどの画像がより圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。

7. ［スタート］をクリックします。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、各ページを読み込むたびに以下の画面が表示されます。

スキャンを続ける場合は、次のページをセットして［次へ］をクリックします。読み込みが終了したら、［完了］をクリックします。

ScanGear MF で細かく設定して読み込む

ScanGear MF を使うと、原稿のプレビューの表示や、画像の詳細な設定ができます。ScanGear MF を使うには、MF Toolbox で［スキャナドライバを表示する］を選択するか、アプリケーションから読み込みます。

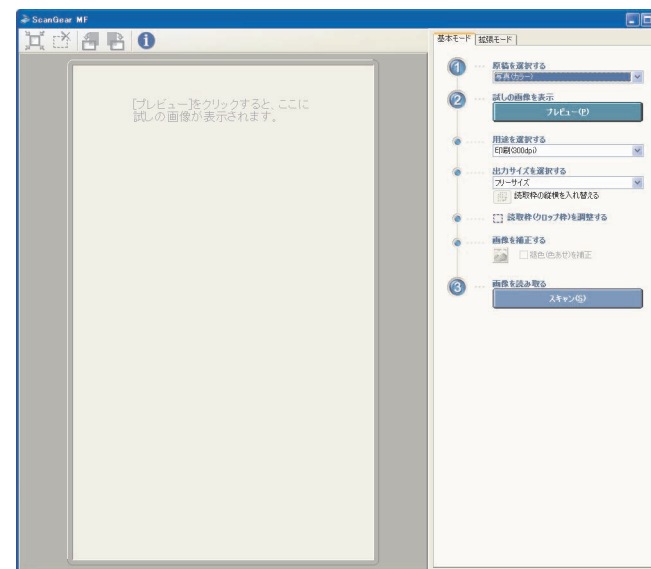
メモ

ADF を使って読み込んだ画像はプレビューできません。

■ 基本モードと拡張モードを切り替える

ScanGear MF には［基本モード］と［拡張モード］があります。［拡張モード］では、解像度やコントラストなどの詳細な設定ができます。

モードを切り替えるには、それぞれのタブをクリックしてください。

■ 基本モードの操作

1. 原稿をセットします。

2. **［原稿を選択する］で原稿の種類を選択します。**

［写真（カラー）］：カラー写真を読み込むときに選択します。

［雑誌（カラー）］：カラーの雑誌を読み込むときに選択します。（モアレ低減機能あり）

［新聞（白黒）］：文字や線画の原稿を読み込むときに選択します。

［文書（グレー）］：カラー写真や原稿を白黒で読み込むときに選択します。高解像度の白黒画像の読み込みに適しています。

［文書（カラー）ADF］：ADF を使ってカラー原稿を読み込むときに選択します。

［文書（グレー）ADF］：ADF を使ってグレースケールの原稿を読み込むときに選択します。

［文書（カラー）ADF］または［文書（グレー）ADF］を選択した場合は、手順 4 に進んでください。

メモ

- ［新聞（白黒）］以外を選択すると、自動色調整機能が働きます。この機能の解除のしかたについては、「色の設定」（→ P.2-27）を参照してください。
- ［文書（カラー）ADF］または［文書（グレー）ADF］は ADF 無しモデルでは、利用できません。

3. **［プレビュー］をクリックします。**

読み込まれた画像のプレビューが表示されます。

4. **［用途を選択する］で、読み込んだ画像の用途を選択します。**

手順 2 で選択した原稿の種類に合わせて、［印刷 （300 dpi）］、［画面表示（150 dpi）］、または［OCR（300 dpi）］から選択します。（→ 解像度を決める：P.2-35）

5. **読み込んだ画像の出力サイズを選択します。**

表示される項目は、手順 4 で選択した用途によって異なります。
をクリックして、出力サイズの方向（縦または横）を切り替えます。

6. **必要に応じて読み込み範囲を調整し、［褪色（色あせ）を補正］を選択します。**

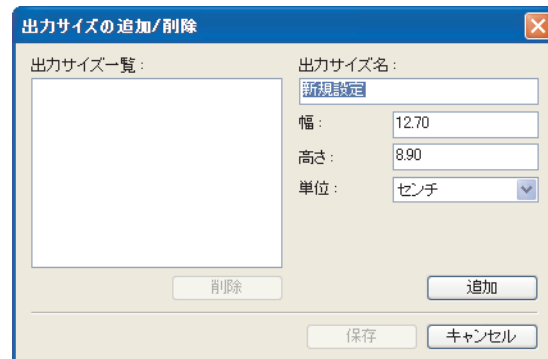
読み込み範囲を調整するには、（オートクロップ）をクリックするか、読み取り枠の角や辺をドラッグします。詳細については、「読み込み範囲を指定する」（→ P.2-21）を参照してください。

メモ

- ［褪色（色あせ）を補正］は、カラー原稿を読み込んだときのみ、設定できます。
- プレビュー画像が表示されていないときは、［褪色（色あせ）を補正］は設定できません。

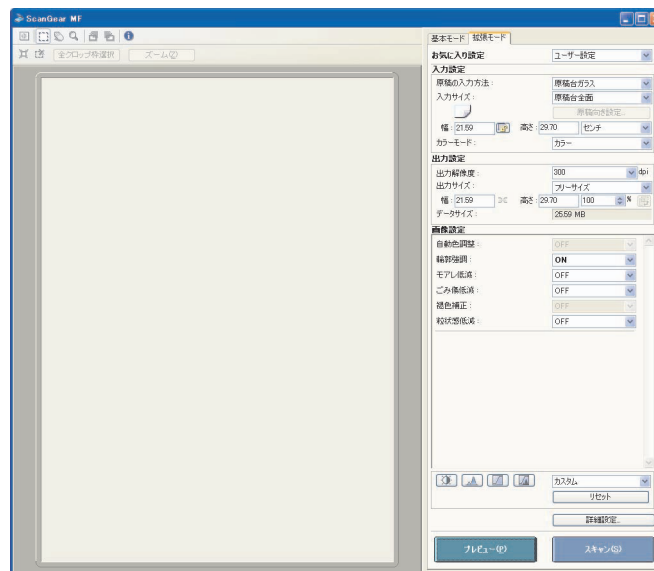
7. **［スキャン］をクリックします。**

出力サイズの追加／削除

［出力サイズを選択する］や［出力サイズ］で［追加／削除］を選択すると、［出力サイズの追加／削除］画面が表示されます。この画面で、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。

[用途]	読み込んだ画像の用途を [印刷] または [画面表示] から選択します。 この設定は拡張モードでのみ利用可能です。
[出力サイズ一覧]	登録されている出力サイズ名が表示されます。
[出力サイズ名]	登録する出力サイズ名を指定します。
[幅]	出力サイズの幅を指定します。
[高さ]	出力サイズの高さを指定します。
[単位]	出力サイズの単位を指定します。
[追加]	指定した出力サイズを［出力サイズ一覧］に追加します。
[削除]	選択した出力サイズを［出力サイズ一覧］から削除します。
[保存]	追加または削除した出力サイズの情報を保存します。

基本モードのツールバー

（オートクロップ）	画像のクロップ範囲を自動的に設定します。 詳細については、「読み込み範囲を指定する」（→ P.2-21）を参照してください。
（クロップ枠の消去）	選択した読み取り枠を消去します。
（左回転）	画像を左に 90 度回転させます。
（右回転）	画像を右に 90 度回転させます。
（情報）	読み込んだ画像の情報を表示します。

■ 拡張モードの使いかた

1. **原稿をセットします。**

2. **［お気に入り設定］、［入力設定］、［出力設定］、［画像設定］、および色の設定をします。**

設定の詳細については、「拡張モードを設定する」（→ P.2-22）を参照してください。
［原稿の入力方法］で［自動給紙装置（ADF 片面）］を選択した場合は、手順 4 に進んでください。

メモ

この設定は ADF 無しモデルでは、利用できません。

3. **［プレビュー］をクリックします。**

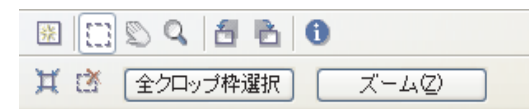
メモ

・ プレビュー範囲を選択し、［ズーム］をクリックすると、拡大された画像が再表示されます。
・ プレビュー画像を消去するには、をクリックします。

4. **原稿の一部を読み込む場合は、範囲を指定します。**

詳細については、「読み込み範囲を指定する」（→ P.2-21）を参照してください。

5. **［スキャン］をクリックします。**

拡張モードのツールバー

（クリア）	プレビュー画像を消去します。ツールバーと色の設定もリセットされます。
（クロップ）	読み込む範囲を指定します。
（画像移動）	拡大した画像を移動します。
（ズーム）	プレビュー画像を拡大または縮小します。左クリックをすると画像が拡大し、右クリックすると縮小します。
（左回転）	画像を左に 90 度回転させます。
（右回転）	画像を右に 90 度回転させます。

（情報）　読み込んだ画像の情報を表示します。

（オートクロップ）

画像の読み込み範囲を自動的に選択します。詳細については、以下の「読み込み範囲を指定する」を参照してください。

（クロップ枠の消去）

選択した読み取り枠を消去します。

［全クロップ枠選択］

このボタンを使うと、［拡張モード］タブで指定した設定が、すべての読み取り枠に反映されます。

［ズーム］　このボタンをクリックすると、プレビュー画像のクロップ範囲を拡大して読み込みます。一度クリックすると、ボタンが［戻す］に変わります。［戻す］をクリックすると、元のサイズに戻ります。

読み込み範囲を指定する

プレビュー画像の一部を選択して、読み込む範囲を指定できます。［スキャン］をクリックすると、指定した範囲のみが読み込まれます。

読み込み範囲を自動的に選択する

プレビュー後に、ツールバーの（オートクロップ）をクリックします。このボタンをクリックするたびに、クロップ範囲が少しずつ狭くなります。

読み込み範囲を指定する

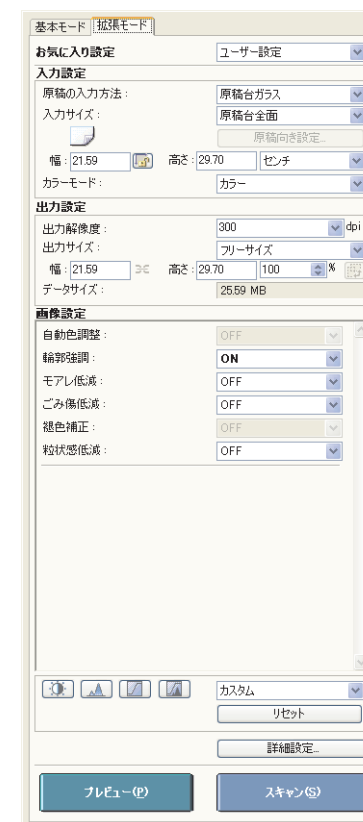
ツールバーの（クロップ）をクリックします。プレビュー画像をクリックして、指定する範囲をドラッグして選択します。さらに調整する場合は、選択した枠の角または辺をドラッグするか、［拡張モード］の［入力設定］で幅または高さに数値を入力します。読み込み範囲を移動するには、読み込み範囲の内側をクリックしてドラッグします。

メモ

- 元の画像の幅と高さの比率を維持するには、［入力設定］でをクリックします。
- ADF を使用している場合は、新たに読み込み範囲を選択すると、前に選択した読み込み範囲は消去されます。

複数の読み込み範囲を指定する（原稿台ガラスを使用している場合のみ）

複数の読み込み範囲を指定することができます。新たに読み込み範囲を指定したいときは、既存の読み込み範囲の外側をクリックして、ドラッグします。

読み込み範囲は 10 個まで指定することができ、［スキャン］をクリックすると、すべての読み込み範囲が一度に読み込まれます。（すべての範囲が読み込まれるまで、スキャン動作が続きます。）

読み込み範囲は、一番最後に作成したものが選択された状態になっています。その他の読み込み範囲を調整したいときは、読み取り枠をクリックすると選択できます。

読み込み範囲を解除する

読み込み範囲を解除する場合は、読み取り枠を選択して以下のいずれかを実行します。

- キーボードの［Delete］キーを押します。
- ツールバーで（クロップ枠の消去）をクリックします。
- 読み込み範囲を右クリックし、［削除］を選択します。
- キーボードの［Ctrl］キーを押しながら読み込み範囲の外側で右クリックし、［削除］を選択します。

■ 拡張モードを設定する

お気に入り設定

お気に入り設定では、選択された読み込み範囲の設定の組み合わせ（入力設定、出力設定、画像設定、色の設定、および詳細設定）を登録することができます。読み込み範囲がない場合は、プレビュー画面全体に対しての設定が登録されます。
登録した設定の確認、選択した読み込み範囲またはプレビュー部分全体へ適用することもできます。

メモ

以下の項目は、お気に入り設定に登録できません。
・［入力設定］や［出力設定］の幅および高さの数値
・［入力設定］の（幅と高さの比率の維持）ボタンの有効状態
・［出力設定］の［%］（拡大／縮小）の数値

［ユーザ設定］　各設定値を入力して指定します。

［初期設定］　現在の設定を初期値に戻します。プレビュー画像は消去されます。

［追加／削除］　［お気に入り設定の追加／削除］画面が表示されます。現在のプレビュー画像の設定に名前を付けて登録できます。プレビュー画像がないときは、この項目は表示されません。

入力設定

［原稿の入力方法］　［原稿台ガラス］または［自動給紙装置（ADF 片面）］から選択します。

メモ

・プレビュー後に設定を変更した場合は、プレビュー画像は消去されます。
・［自動給紙装置（ADF 片面）］は ADF 無しモデルでは、利用できません。

［入力サイズ］　読み込む原稿のサイズを選択します。

メモ

・プレビュー後に設定を変更した場合は、プレビュー画像は消去されます。
・ADF に原稿がセットされている場合は、用紙サイズを［2L 判 横］、［A5 縦］、［A5 横］、［B5］、［A4］、［レター］、または［リーガル］から選択します。

(原稿の向き) 原稿を読み取る方向を示します。表示されるアイコンは、[原稿の入力方法]、[入力サイズ]、および [原稿向き設定] の設定によって異なります。

[原稿向き設定] [原稿向き設定] 画面を開きます。この画面で、原稿の向きを指定できます。

幅： 入力サイズの幅を指定します。

高さ： 入力サイズの高さを指定します。

メモ

- アプリケーションによっては、取り込み可能な画像のデータサイズに制限があります。読み込みの設定値が 21,000 x 30,000 ピクセルを超える場合は、画像は取り込まれません。
- [出力解像度] が [600] dpi に設定されている場合の画像の最小設定値は、96 x 96 ピクセルになります。
- 画像の幅と高さの現在の比率を維持するには、をクリックします。
- [原稿の向き設定] は ADF 無しモデルでは、利用できません。

[カラーモード] 原稿の種類と読み込み方法を選択します。

[白黒]：
原稿を白黒プリンタで出力するときに選択します。画像の色は、特定のレベル（しきい値）で白と黒に分けられ、2 色で表現します。しきい値設定の詳細については、「色の設定」(→ P.2-27) を参照してください。

[グレースケール]：
白黒写真などの読み込みや白から黒までの明暗だけ（モノクロ）で表現したいときに選択します。画像を白黒 256 段階（グレースケール）で表現します。

[カラー]：
カラー写真などを読み込むときに選択します。画像を、R（赤）、G（緑）、B（青）の各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

[カラー（文書，表)]：
文字や図表を含むカラー原稿などを読み込むときに選択します。画像を R（赤）、G（緑）、B(青)各色256 段階(8 ビット)で表現します。

[テキスト（OCR)]：
文字などをはっきりと読み込みます。OCR ソフトなどで文字を読み込むときに選択します。画像を白と黒の 2 色で表現します。

出力設定

[出力解像度]　読み込みの解像度をプルダウンリストから選択するか、25 ～ 9600 dpi の範囲の数値を入力して設定します。ADF を使用する場合は、25～600 dpiの範囲の数値を入力します。(→解像度を決める：P.2-35)

[出力サイズ]　読み込んだ画像の出力サイズを選択します。

[追加／削除] を選択した場合は、[出力サイズの追加／削除] 画面が表示され、個別に指定した出力サイズの追加や削除ができます。(→ 出力サイズの追加／削除：P.2-19)

[フリーサイズ] を選択した場合は、幅、高さ、または [%]（拡大／縮小）に数値を入力します。実際に読み込むときの解像度は、[%] で設定した値によって変更されます。

幅および高さは、入力設定の幅および高さに比例しています。[%] には 25 から 38,400 までの値を入力できますが、上限は [出力解像度] の値によって異なります。

をクリックすると、出力サイズの方向（縦または横）の切り替えができます。[フリーサイズ] を選択した場合は、このボタンは使用できません。

[データサイズ]　指定した設定で読み込んだ画像のデータサイズを表示します。

画像設定

[自動色調整]　[ON] に設定すると、画像の色調を自動的に調整します。プレビュー画面が表示されていないときは、この設定を適用できません。

メモ

[カラーモード] で [カラー]、[カラー（文書, 表)]、または [グレースケール] が選択され、[詳細設定] 画面で [色の調整] が [推奨] または [カラーマッチング] に設定されている場合に設定できます。(→[色の設定] タブ：P.2-33)

[輪郭強調]　[ON] に設定すると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。ピントがあまい写真などを読み込む場合に効果的です。

メモ

[カラーモード] で [カラー]、[カラー（文書, 表)]、または [グレースケール] が選択されている場合に設定できます。

[モアレ低減]　[ON]に設定すると、印刷された写真などを読み込む場合に、濃淡のムラや縞模様（モアレ）を低減します。

メモ

- [カラーモード]で[カラー]、[カラー（文書，表）]、または[グレースケール]が選択されている場合に設定できます。
- [モアレ低減]が[ON]に設定されていても、[輪郭強調]が[ON]になっていると、モアレが解消されないことがあります。この場合は、[輪郭強調]を[OFF]にしてください。
- この設定の変更は、次の読み込み時に反映されます。

[ごみ傷低減]　写真にあるゴミや傷を減らします。

[OFF]：
ごみ傷低減を行いません。

[弱]：
小さなゴミや傷を減らします。

[標準]：
通常はこの設定をお勧めします。

[強]：
大きいゴミや傷も減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分が消去される可能性があります。

メモ

[カラーモード]で[カラー]、[カラー（文書，表）]、または[グレースケール]が選択されている場合に設定できます。

[褪色補正]　あせた色を補正します。また、くすんだ原稿の彩度を高め、あざやかな画像に仕上げます。プレビュー画面が表示されていないときは、この項目は設定できません。

[OFF]：
褪色補正を行いません。

[弱]：
あせた色を少し補正します。

[標準]：
通常はこの設定をお勧めします。

[強]：
あせた色を大きく補正しますが、画像の色調が変わる可能性があります。

メモ

[カラーモード]で[カラー]または[カラー（文書、表）]が選択され、[詳細設定]画面で[色の補正]が[推奨]に設定されている場合に設定できます。（→ [色の設定]タブ：P.2-33）

［粒状感低減］　高感度フィルムで撮影した画像のざらつきを補正し、なめらかな色調で高画質に仕上げることができます。

［OFF］：
粒状感低減を行いません。

［弱］：
ざらつきが余り目立たないときは、この設定を選択します。

［標準］：
通常はこの設定をお勧めします。

［強］：
粒状感を大きく調整しますが、画像のシャープさや画質が下がる可能性があります。

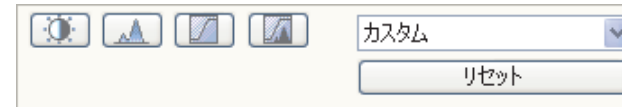
メモ

- ［カラーモード］で［カラー］、［カラー（文書，表）］、または［グレースケール］が選択されている場合に設定できます。
- プレビュー画面にはこの設定は反映されません。

色の設定

色の設定ボタンでは、画像全体の明るさやコントラストの調整、ハイライトとシャドウの指定、およびコントラストや明暗のバランスの調整ができます。

表示される色の設定ボタンは選択されている［カラーモード］によって異なります。［テキスト（OCR）］が選択されている場合は、色の設定ボタンは表示されません。

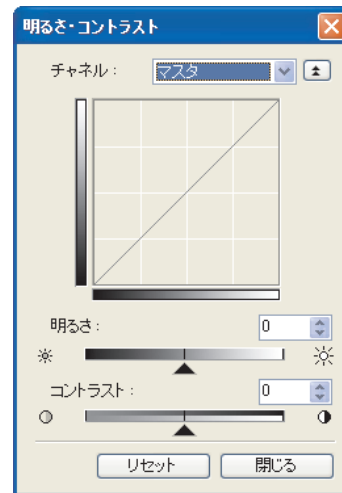
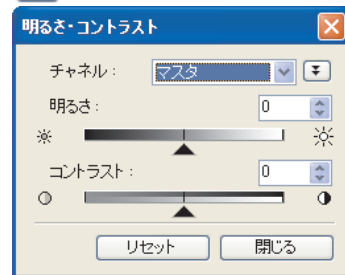
［カラーモード］で［カラー］、［カラー（文書，表）］、または［グレースケール］が選択されている場合：

［カラーモード］で［白黒］が選択されている場合：

プルダウンリストから［追加／削除］を選択すると、色の設定の組み合わせを登録することができます。（→ トーンカーブ・しきい値プルダウンリスト：P.2-31）

ボタンをクリックすると、各設定画面が表示されます。
［リセット］をクリックすると、色の設定がすべて初期値に戻ります。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

● **明るさ・コントラスト**

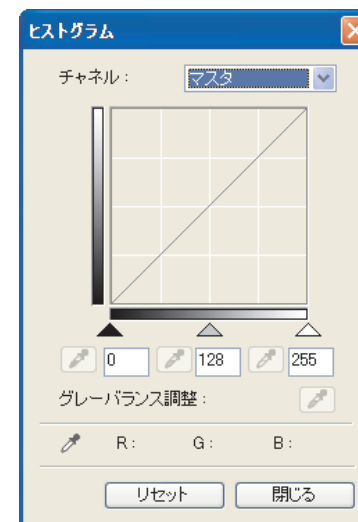
画像の明るさとコントラストのレベルを調整できます。
をクリックして、明るさとコントラストを図表上で調整します。

［チャネル］　［カラーモード］で［カラー］または［カラー（文書、表）］が選択されている場合は、［赤］、［緑］、［青］のいずれかを選択して別々に調整するか、［マスタ］を選択して３つの色の要素をまとめて調整します。
［カラーモード］で［グレースケール］が選択されている場合は、グレーの要素を調整します。

［明るさ］　スライダ▲を動かすか、数値（-127 ～ 127）を入力して画像の明るさを調整します。

［コントラスト］　スライダ▲を動かすか、数値（-127 ～ 127）を入力して画像のコントラストを調整します。

［リセット］　現在の設定をすべて初期値に戻します。

● **ヒストグラム**

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを確認できます。画像の中の最も明るいレベルと暗いレベルを指定して、カットし、中間の色調の範囲を広げることができます。

目次
索引

[チャネル]　[カラーモード］で［カラー］または［カラー（文書、表）］が選択されている場合は、［赤］、［緑］、［青］のいずれかを選択して別々に調整するか、［マスタ］を選択して３つの色の要素をまとめて調整します。
［カラーモード］で［グレースケール］が選択されている場合は、グレーの要素を調整します。

（暗点スポイト）　このボタンをクリックし、プレビュー画像（または選択されたクロップ）内で、最も暗くしたい部分をクリックして指定します。数値（0～245）を入力するか、スライダ▲を動かして指定することもできます。

（中間点スポイト）　このボタンをクリックし、プレビュー画像（または選択されたクロップ）内で、中間の色にしたい部分をクリックして指定します。数値（5～250）を入力するか、スライダ△を動かして指定することもできます。

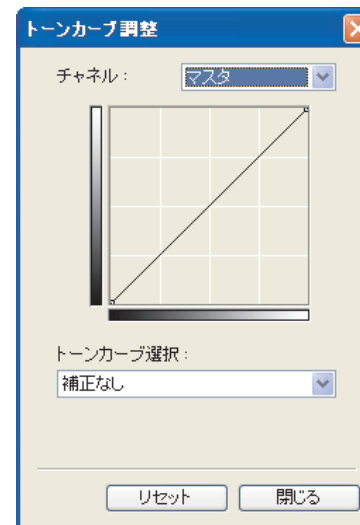
（明点スポイト）　このボタンをクリックし、プレビュー画像（または選択されたクロップ）内で、最も明るくしたい部分をクリックして指定します。数値（10～255）を入力するか、スライダ△を動かして指定することもできます。

（グレーバランス調整スポイト）

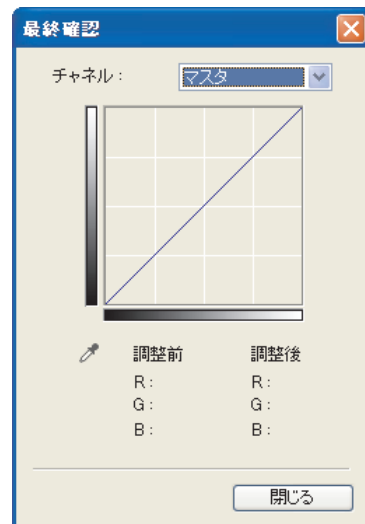
カラー画像を調整する場合は、このボタンをクリックし、プレビュー画像（または選択されたクロップ）内で、グレーバランスを調整する点をクリックして指定します。
読み込んだ画像内のグレー要素は中間色になり、他の要素は本来の色を再現します。

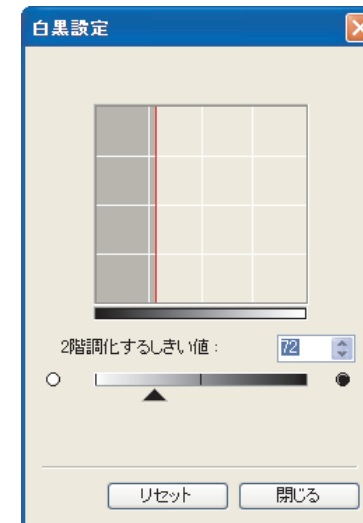
［リセット］　現在の設定をすべて初期値に戻します。

● **トーンカーブの調整**

トーンカーブ（入力と出力のバランスを示すグラフ）の種類を選択し、画像の特定の部分の明るさを調整することができます。

[チャネル]	[カラーモード] で [カラー] または [カラー(文書、表)] が選択されている場合は、[赤]、[緑]、[青] のいずれかを選択して別々に調整するか、[マスタ] を選択して３つの色の要素をまとめて調整します。 [カラーモード] で [グレースケール] が選択されている場合は、グレーの要素を調整します。
[トーンカーブ選択]	[補正なし]、[露出オーバーにする]、[露出アンダーにする]、[ハイコントラストにする]、[ネガポジを反転する] からトーンカーブを選択します。
[リセット]	現在の設定をすべて初期値に戻します。

● **最終確認**

色の設定が確認できます。

● **白黒設定**

しきい値の設定を調整できます。しきい値を調整すると、文字原稿の文字が鮮明になり、新聞などの裏写りを軽減することができます。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

[2 階調化するしきい値]
　スライダ▲を動かすか、数値（0 ～ 255）を入力してしきい値を調整します。

[リセット]　現在の設定を初期値に戻します。

 メモ

カラーおよびグレーの画像の明るさは、0 ～ 255 の数値で表現されますが、白黒画像の明るさは、白と黒の中間色の部分も含めて、白または黒で表現されます。白と黒に分ける境を「しきい値」といいます。

● トーンカーブ・しきい値プルダウンリスト

読み込み範囲の色の設定を保存することができます。読み込み範囲がない場合は、プレビュー範囲全体の設定が保存されます。また、保存した設定を呼び出して、選択した読み込み範囲にその設定を適用することができます。

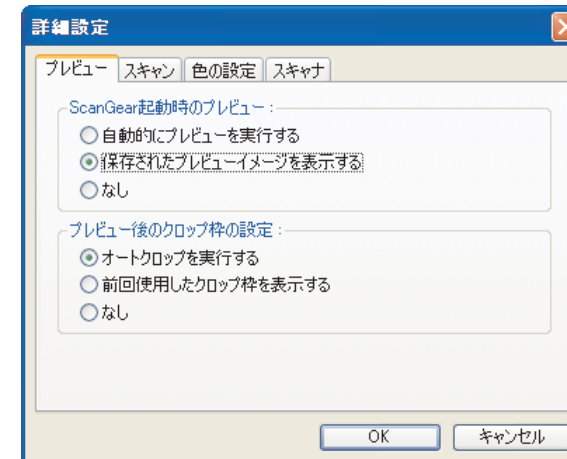
[カスタム]　各設定の値を指定することができます。設定を適用したあとでも、設定を変更することができます。

[追加／削除]　[トーンカーブ設定の追加／削除］画面（［カラーモード］で［白黒］が選択されている場合は、[しきい値設定の追加／削除］画面）が表示され、色の設定に名前を付けて登録することができます。

詳細設定

[拡張モード］タブで［詳細設定］をクリックすると、[詳細設定］画面が開きます。スキャンおよびプレビューの設定を変更することができます。

● [プレビュー］タブ

目次
索引

[ScanGear 起動時のプレビュー]

ScanGear MF を起動したときのプレビューの動作を選択します。

[自動的にプレビューを実行する]：
ScanGear MF を起動すると、自動的にプレビューを開始します。

[保存されたプレビューイメージを表示する]：
最後にプレビューした画像を表示します。

[なし]：
プレビュー画像は表示されません。

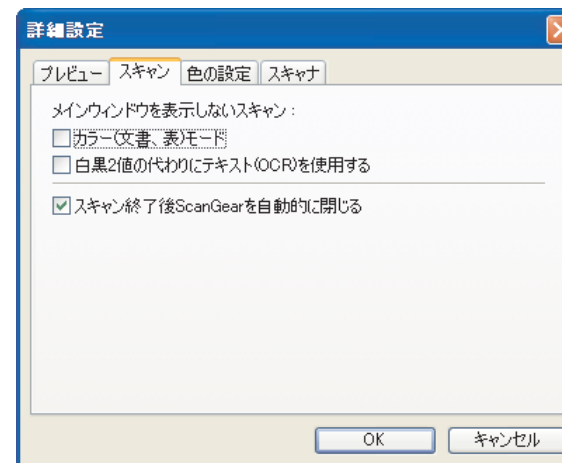
[プレビュー後のクロップ枠の設定]

プレビュー画像で読み取り枠をどのように表示するかを設定します。

[オートクロップを実行する]：
原稿サイズに合わせて読み込み範囲を自動的に選択します。

[前回使用したクロップ枠を表示する]：
前回設定した枠が表示されます。

[なし]：
枠は表示されません。

● [スキャン] タブ

[メインウィンドウを表示しないスキャン]

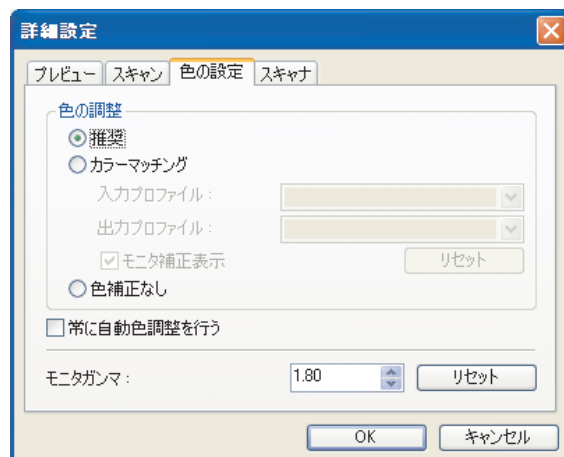
OCR ソフトなど、読み込み時に ScanGear MF の画面を表示しないアプリケーションでは、アプリケーション内に初期設定されている数値で読み込まれます。アプリケーションの設定値を無視して、特定のカラーモードで読み込む場合は、ここで設定します。

[カラー（文書、表）モード]：
アプリケーションの設定値に関係なく、[カラー（文書、表)] モードで読み込まれます。

[白黒 2 値の代わりにテキスト（OCR）を使用する]：
アプリケーションの設定値に関係なく、[テキスト（OCR)] モードで読み込まれます。

［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］

この項目が選択されている場合は、スキャン後に［ScanGear MF］画面を自動的に閉じます。アプリケーションによっては、この設定にかかわらず、スキャン終了後に ScanGear MF を自動的に閉じます。

● ［色の設定］タブ

［色の調整］　色調整の種類を選択します。

［推奨］：
画面上の原稿の色調をあざやかに再現します。

［カラーマッチング］：
スキャナ、モニタ、およびカラープリンタの色に自動的に合わせます。この項目を選択すると、［拡張モード］タブの色の設定ボタンは無効になります。［カラーモード］で［カラー］、または［カラー（文書、表）］が選択されている場合に、設定できます。

［色補正なし］：
カラーマッチングは行いません。［カラーモード］で［カラー］、［カラー（文書，表）］、または［グレースケール］が選択されている場合に設定できます。

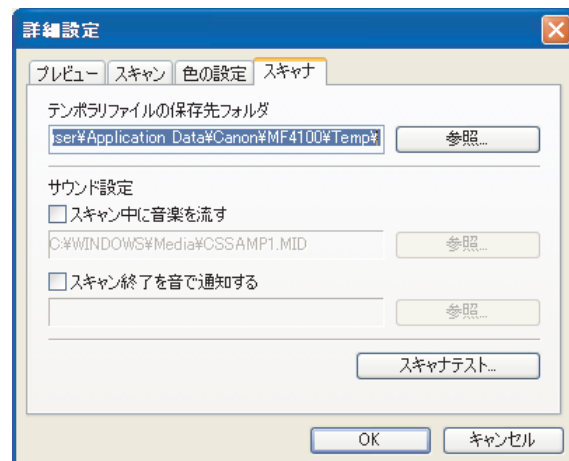
［常に自動色調整を行う］

画像の色を常に自動的に補正します。［カラーモード］で［カラー］、［カラー（文書，表）］、または［グレースケール］が選択されている場合に設定できます。

［モニタガンマ］　ガンマを補正します。読み込まれた画像を表示するモニタのガンマ値（0.10 ～ 10.00）を指定します。［カラーモード］で［白黒］が選択されている場合は、この設定はスキャン結果に反映されません。

メモ

［色の調整］で［カラーマッチング］が選択されている場合は、［モニタガンマ］の値は 1.80 に固定されます。

● ［スキャナ］タブ

［テンポラリファイルの保存先フォルダ］

画像を一時的に保存するフォルダを指定します。［参照］をクリックしてファイルの保存先フォルダを指定します。

［サウンド設定］

スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。
以下のファイルを指定できます。
MIDI ファイル（*.mid, *.rmi, *.midi）、オーディオファイル（*.wav, *.aiff, *.aif）、MP3 ファイル（*.mp3）

［スキャン中に音楽を流す］：
読み込み中に音楽が流れます。［参照］をクリックして、サウンドファイルを指定します。

［スキャン終了を音で通知する］：
読み込み終了時に音楽が流れます。［参照］をクリックして、サウンドファイルを指定します。

［スキャナテスト］

スキャナが通常に動作しているかを確認する［スキャナ自己診断］画面が開きます。本製品に電源が接続され、USB ケーブルで本製品とコンピュータが接続されているかを確認してから［スタート］をクリックしてください。

■ 解像度を決める

読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点の集まりです。この点の密度を解像度といい、1 インチあたりの点（ドット）の数を dpi（ドット・パー・インチ）で表します。
解像度は、MF Toolbox 設定画面内の［出力解像度］、または ScanGear MF 拡張モードタブ の［出力解像度］で指定します。

● モニタに表示するとき

モニタに表示する画像は、一般的なモニタの解像度である 75 dpi で読み込みます。

● プリンタで印刷するとき

プリンタで印刷する画像は、プリンタの解像度に合わせて読み込みます。

メモ

カラープリンタでは、何色かのインクのかけ合わせで色が表現されるため、プリンタの解像度の半分程度で十分です。

● 拡大／縮小して印刷するとき

たとえば、縦と横の長さを 2 倍にして印刷すると、実際の解像度は半分になります。このような場合、原稿を 2 倍の解像度で読み込むと、十分な画質で印刷できます。反対に、半分に縮小する場合は、半分の解像度で十分です。

● 解像度とデータサイズ

解像度を 2 倍にすると、読み込んだ画像データの容量は 4 倍になります。データが大きすぎる場合、処理速度が極端に遅くなったり、メモリ不足などの不具合が発生したりすることがあります。解像度は、使用目的に合わせて必要最小限に設定してください。

WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

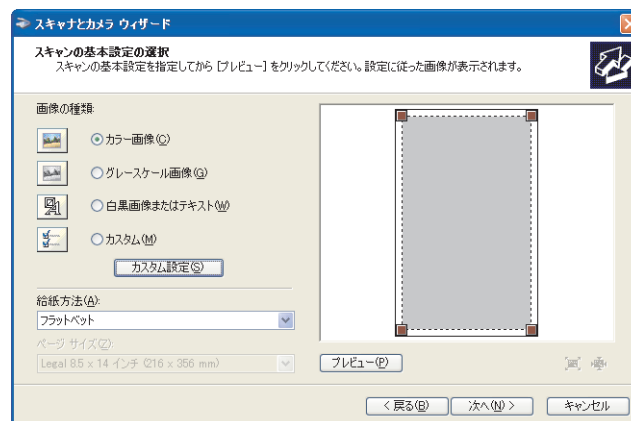
■［スキャナとカメラ］画面から読み込む

1.［スキャナとカメラ］フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします。

2. WIA ドライバアイコンをダブルクリックします。

3.［次へ］をクリックします。

4.［画像の種類］を選択します。

［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］、［カスタム］から選択します。
［カスタム］を選択する場合は、［カスタム設定］をクリックし、［ プロパティ］画面で詳細を設定します。

5. 給紙方法を選択します。

［フラットベッド］（原稿台ガラス）または［ドキュメント フィーダ］（ADF）から選択します。

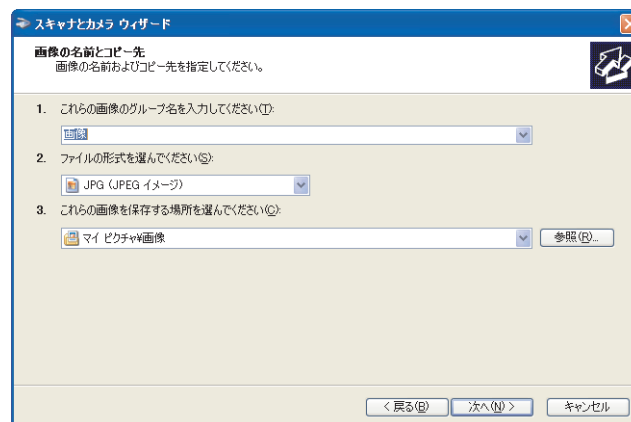
メモ

［給紙方法］は ADF 無しモデルでは、利用できません。

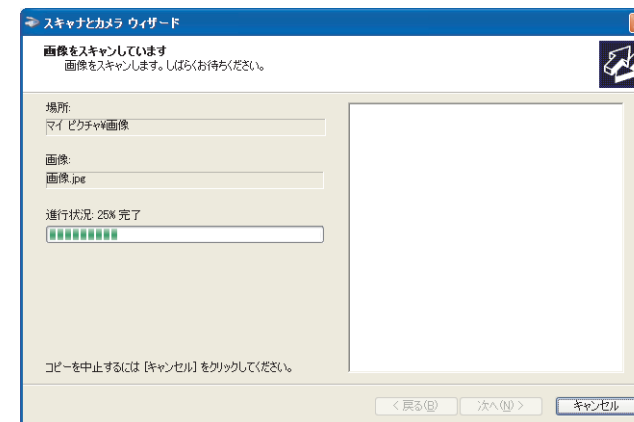
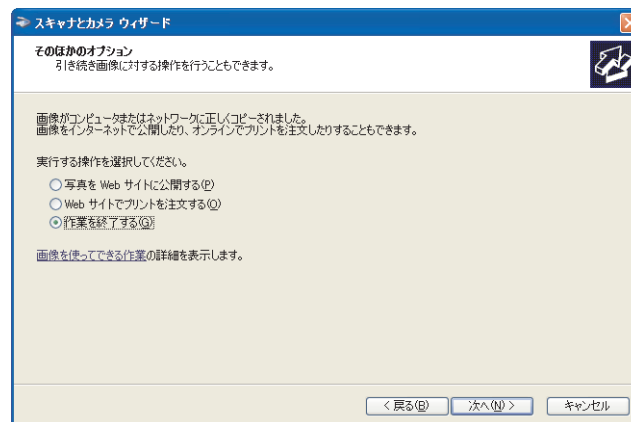
6. 読み込む範囲を指定します。

給紙方法で［フラットベッド］を選択した場合は、［プレビュー］をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。
［ドキュメント フィーダ］を選択した場合は、プルダウンリストから原稿サイズを選択します。

7. ［次へ］をクリックします。

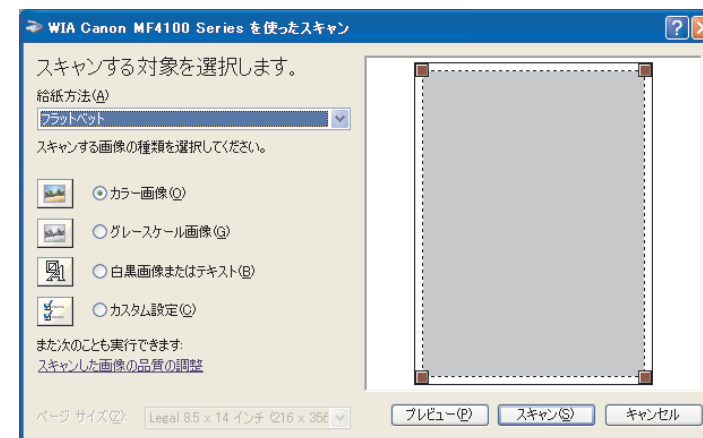
8. 画像の名前、ファイル形式、保存先を指定します。

メモ

- 複数の画像を同じ場所に保存する場合は、ファイル名のあとに自動的に連番が付けられます。
- ［BMP（ビットマップ イメージ）］、［JPG（JPEG イメージ）］、［TIF（TIF イメージ）］、または［PNG（PNG イメージ）］からファイル形式を選択します。

9. ［次へ］をクリックして読み込みを開始します。

10.［次へ］をクリックします。

ウェブサイトにこれらの画像を載せるときや、オンライン出力するときは、対応する項目を選択してください。

11.［完了］をクリックします。

■ アプリケーションから読み込む

WIA ドライバ画面が表示されたら、以下の手順に従ってください。WIA ドライバの表示方法については、「アプリケーションから画像を読み込む」（→ P.2-14）を参照してください。

1. 給紙方法を選択します。

［フラットベッド］（原稿台ガラス）または［ドキュメント フィーダ］（ADF）から選択します。

メモ

［給紙方法］は ADF 無しモデルでは、利用できません。

2.［画像の種類］を選択します。

［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］、［カスタム設定］から選択します。

3. **必要に応じて、[スキャンした画像の品質の調整]をクリックします。**

[詳細プロパティ]画面が表示されます。

4. **画質を調整し、[OK]をクリックします。**

詳細については、以下の「詳細プロパティ」を参照してください。

5. **読み込む範囲を指定します。**

給紙方法で[フラットベット]を選択した場合は、[プレビュー]をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。
[ドキュメント フィーダ]を選択した場合は、[ページサイズ]から原稿サイズを選択します。

6. **[スキャン]をクリックします。**

詳細プロパティ

[外観]	サンプル画像が表示されます。
[明るさ]	明るさを指定します(-127 ~ 127)。
[コントラスト]	カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します(-127 ~ 127)。
[解像度(dpi)]	読み込みの解像度を dpi で指定します(50 ~ 600)。
[画像の種類]	読み込む色の種類([カラー画像]、[グレースケール画像]、または[白黒画像またはテキスト])を指定します。
[リセット]	現在の設定をすべて初期値に戻します。

メモ

[詳細プロパティ]タブの設定項目と初期値は、選択した画像の種類によって異なります。

3 困ったときには

スキャナのトラブル

スキャンできない

Q	**本製品のディスプレイに何か表示されていますか？**
A	本製品のディスプレイに何も表示されていない場合は、操作ガイド（応用編）「第 5 章 困ったときには」「ディスプレイに何も表示されない」を参照してください。
Q	**エラーランプが点滅していませんか？**
A	エラーランプが点滅している場合は、操作ガイド（応用編）「第 5 章 困ったときには」「エラーランプが点滅する」を参照してください。
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	一度原稿を取り出し、再度原稿を原稿台ガラスに正しくセットしてください。（→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿の取り扱い」「原稿をセットする」）
Q	**コンピュータは正常に動作していますか？**
A	コンピュータを再起動してください。
Q	**USB ハブや中継器は正常に動作していますか？**
A	USB ハブや中継器を使っているときは、USB ケーブルを直接コンピュータに接続して正しく動作するか確認してください。USB ケーブルを直接コンピュータに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が正しく動作するか確認してください。
Q	**USB 2.0 対応の USB ハブを使用していますか？**
A	USB 2.0 インタフェースを装備したコンピュータに、USB 2.0 対応の USB ハブで本製品を接続したときに、スキャンできないことがあります。そのようなときには USB ケーブルを直接コンピュータに接続してください。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

A

USB 2.0インタフェースを装備したコンピュータに本製品を接続した場合、スキャンできないことがあります。お使いのコンピュータに2つ以上の USB ポートが装備されている場合は、もう片方の USB ポートに本製品を接続してください。それでも問題が解決しない場合は、以下の操作で INI ファイルを書きかえてください。あらかじめファイルをコピーし、書きかえる前のファイルを保存することをお勧めします。

1. 以下のファイルをメモ帳か、他のテキストエディタアプリケーションで開きます。
   Windows 98/Me の場合：
   windows¥system¥CNCMFP23.INI
   Windows 2000 の場合：
   winnt¥system32¥CNCMFP23.INI
   Windows XP の場合：
   windows¥system32¥CNCMFP23.INI
2. [読み取りサイズ]セクションで、"Read512Bytes=0"を "Read512Bytes=1" に変更してファイルを保存します。他の部分を書きかえないように注意してください。

Q

MF Toolbox、ScanGear MF、および WIA ドライバで、原稿をセットする場所を正しく設定していますか？

A

原稿台ガラスまたは ADF を選択してください。

Q

本製品のソフトウェアをインストールしたあとに、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールしましたか？

A

本製品のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、ソフトウェアを削除してから再インストールしなおしてください。(→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」「インストール手順」)

Q

Windows の［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］で本製品が認識されていますか？

A

次の手順で、［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］フォルダに本製品のドライバ名とアイコンが表示されているか確認してください。

1. タスクバーの［スタート］から、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします。(Windows 98/2000 のときは、［設定］→［コントロール パネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします。)
2. ［スキャナとカメラ］の中に本製品のドライバが表示されていれば、認識されています。表示されていないときは、ソフトウェアを削除してから再インストールしなおしてください。(→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」「インストール手順」)

複数ページの PDF ファイルを作成しようとしたが、複数の原稿をスキャンできない

Q

［詳細設定］で［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］にチェックマークが付いていませんか？

A

［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］を選択してスキャンした場合は、そのとき原稿台ガラスにセットされている原稿のみをスキャンします。
設定画面でMF Toolboxのボタンをクリックし、[スキャナドライバを表示する］を選択して ScanGear MF を開きます。スキャンする前に、拡張モードの［詳細設定］画面で［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］のチェックマークを外してください。

目次
索引

コンピュータがフリーズした

Q　**アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていますか？**

A　他のアプリケーションが開いているときは、それらを終了して使用可能なメモリ容量を増やしてください。

Q　**ハードディスクに十分な空きがありますか？**

A　大きな原稿を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるか確認します。たとえば A4 サイズの原稿を600 dpiの解像度でフルカラーで読み込むには、最低 300 MB の空き容量が必要です。

Q　**Photoshop で読み込んでいるときにエラーが起きましたか？**

A　Photoshop の［編集］メニューから［詳細設定］を選択し、［メモリ・画像キャッシュ］をクリックします。［メモリの使用状況］を 50 ～ 60% に変更してください。

Q　**プリンタドライバは正常にインストールされましたか？**

A　ソフトウェアを削除してからインストールしなおしてください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」「インストール手順」）

付属のユーザソフトウェア CD-ROM のアプリケーションをインストールしたが、MF Toolbox に登録されていない

Q　**MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールしていませんか？**

A　MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールすると、アプリケーションは MF Toolbox に登録されません。MF Toolbox 画面で［設定］をクリックして、アプリケーションを手動で登録してください。
（→ アプリケーションの設定（メールソフトの設定）：P.2-12）

MF Toolbox のボタンをクリックすると別のアプリケーションが起動してしまう

Q　**ボタンのリンク先に正しいアプリケーションが設定されていますか？**

A　MF Toolbox のボタンをクリックして、割り当てたいアプリケーションを設定してください。（→ アプリケーションの設定（メールソフトの設定）：P.2-12）

変更した設定が反映されない

Q　**設定を変更したあと、コンピュータを再起動しましたか？**

A　［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］を開き、［イベント］タブで設定を変更したときは、コンピュータを再起動しないと有効にならないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

読み込んだ画像が汚れている

Q	**原稿の読み取りエリアが汚れていませんか？**
A	原稿台ガラス、原稿台ガラスカバー、または ADF の読み取りエリアを掃除してください。
Q	**画像サイズが小さすぎませんか？**
A	アプリケーションによっては、小さいサイズでは正しく表示できません。100%表示を試してください。
Q	**モニタディスプレイの表示色を 16 ビット以下に設定していませんか？**
A	[画面のプロパティ] で、ディスプレイの表示色を「High Color（16 ビットまたは 24 ビット）」以上に設定してください。

読み込んだ画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

Q	**解像度は正しく設定されていますか？**
A	以下のいずれかを行ってください。 ・アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。ペイントやイメージングで画像を表示している場合は、拡大表示されて、縮小できないことがあります。 ・解像度を変更して、再度読み込みます。画像は、解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます。（→ 解像度を決める：P.2-35）

蛍光ペン部分の読み取りが弱い

Q	**[色の調整] は [カラーマッチング] になっていますか？**
A	ScanGear MF の [拡張モード] で、[色の調整] を [カラーマッチング] に設定してください。（→ [色の設定] タブ：P.2-33）

目次
索引

インストール／アンインストール時のトラブル

ソフトウェアをインストールできない

Q	**画面の指示に従ってインストールしましたか？**
A	再度インストールしてください。インストールの途中でエラーが起きたときは、コンピュータを再起動してからインストールしなおしてください。
Q	**他のアプリケーションが開いていませんか？**
A	他のアプリケーションをすべて終了してから、インストールしなおしてください。

アンインストールに時間がかかる（Windows XP）

Q	**アンインストールするときに、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションが開いていませんか？**
A	アンインストールする前に、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションをすべて終了してください。

アンインストールしても、スタートメニューに［Canon］フォルダが残っている

Q	**MF Toolboxより先にMFドライバを削除しましたか？**
A	先に MF ドライバを削除すると、MF Toolbox をアンインストールしたあとに［Canon］フォルダが残ることがあります。その場合は、以下の手順を実行してフォルダを削除してください。 Windows XP の場合は、［スタート］メニューを右クリックし、Windows エクスプローラを開きます。［All Users］から［スタートメニュー］→［プログラム］を選択し、［Canon］フォルダを削除してください。 Windows 2000 の場合は、［スタートメニュー］から［設定］→［タスクバーと［スタート］メニュー］→［タスクバーとスタートメニューのプロパティ］→［詳細］タブ→［詳細］をクリックし、［All Users］の［スタートメニュー］から［プログラム］を選択し、［Canon］フォルダを削除してください。 Windows 98/Me の場合は、［スタートメニュー］から［設定］→［タスクバーと［スタート］メニュー］→［[スタート］メニューの設定］→［削除］をクリックし、［Canon］フォルダを選択して［削除］をクリックしてください。

お使いになる前に 1
原稿をスキャンする 2
困ったときには 3
付録 4

コンピュータに「バージョンの競合」という画面が表示される（Windows 98）

Q	**コンピュータにPhotoshopがインストールされていますか？**
A	Photoshop がインストールされていると、「バージョンの競合」、「Windows 98 のファイルとは言語または･･･」というメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。どちらをクリックしてもこのあとのインストールの操作を問題なく続けられます。

Windows XP にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

Q	**Windows 98/Me/2000 を、本製品のソフトウェアをアンインストールしないで、Windows XP にアップグレードしましたか？**
A	ソフトウェアを削除してからインストールしなおしてください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」「インストール手順」）

［デバイスマネージャ］に緑の［？］マークが表示される（Windows Me）

Q	**［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［？］マークが表示されますか？**
A	問題ありません。そのままお使いください。

目次
索引

4 付録

スキャナの仕様

形式	カラースキャナ
最大読み込みサイズ	216 mm × 356 mm
読み取り解像度	25 ～ 9600 dpi （ScanGear MF）
読み取り速度	カラー : 4.5 msec/line (600 dpi) グレースケール :1.5 msec/line (600 dpi)
インタフェース	USB 1.1, USB 2.0
動作環境	Windows 98/98SE/Me/ 2000 Professional/XP （32 ビット バージョン）
デバイスドライバ	TWAIN および WIA（Windows XP のみ）

メモ

仕様は、予告なく変更されることがあります。

用語集

D

dpi

１インチあたりのドット数（dots per inch）のことです。プリンタの解像度を表す単位です。本製品では 600 dpi の解像度で印刷します。

E

Exif

Exif（Exchange Image File）フォーマットは JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格されたデジタルカメラ向けの画像フォーマットです。JPEG をベースにしており、JPEG をサポートするソフトなら何でも開くことができます。各 JPEG のヘッダー内に画像が取られた日時や写真の露出情報などの付属情報を保持します。

O

OCR（Optical Character Reader）

光学式文字読み取り装置。スキャナなどを使って手書きの文字や印刷された文字を読み込み、その画像から文字情報を抽出するシステム。スキャナで読み込んだ画像のままでは、ワープロソフトなどで文字を修正することはできませんが、OCR ソフトを使ってテキストファイルにすれば、ワープロソフトなどで編集したり修正したりすることができます。

P

PDF

Portable Document Format の略です。コンピュータ間でドキュメントを送信および表示するときに広く使用されている形式です。PDF ドキュメントは、Adobe 社の Acrobat Reader プログラムを使って表示または印刷できます。

T

TWAIN

スキャナやデジタルカメラなどからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。スキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）の標準規格です。装置とアプリケーションの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持ちます。

たとえば、TWAIN 対応の画像処理ソフトを使うときは、そのソフトのメニューからスキャナの TWAIN ドライバ（ScanGear MF）を起動してスキャンし、スキャンした画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。

U

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

シリアルインタフェースの新規格です。自動的に接続を認識したり（プラグアンドプレイ）、コンピュータや周辺機器の電源を入れたままコネクタを自由に抜き差ししたりすることができます。

W

WIA （Windows Image Acquisition）

スキャナやデジタルカメラから画像を読み込むための規格です。本製品には、スキャナドライバとして、TWAIN 対応ドライバと WIA 対応ドライバの 2 つが用意されています。WIA ドライバは、Windows XP のみ使えます。どちらも TWAIN インタフェースをサポートしているアプリケーション（Photoshop など）で、プリンタ本体を使って原稿を読み込むことができます。

Windows エクスプローラ

ネットワークシステム内のコンピュータのディスクドライブ、フォルダ、ファイルを参照したり、開いたり、管理したりするときに使用する Windows プログラムです。Windows エクスプローラを使って、ネットワーク上の他のコンピュータの共有フォルダを表示したり、開いたりすることもできます。また、Windows エクスプローラを使って、ファイルの移動、コピー、名前変更および削除といったファイルの管理が行えます。

あ行

アプリケーション

アプリケーションソフトウェアの略です。ワープロソフト、表計算ソフト、データベースソフトなどの、特定の目的のために作られたソフトウェア、またはそれらを統合したソフトウェアのことです。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除して、インストールする前の状態に戻すことです。

インストール

ソフトウェアをコンピュータのハードディスクの所定の位置にコピーし、いつでも使える状態にすることです。

インタフェース

2 つのデバイスを接続するために使用するハードウェアやソフトウェアです。2 つの装置はインタフェースを介して相互に通信します。本製品は、USB インタフェースを使用してコンピュータ（PC/AT 互換機）と通信を行います。

か行

解像度

出力装置のドット密度のことです。dpi（dots per inch）で表されます。低解像度の場合、フォント文字やグラフィックの輪郭がギザギザになりますが、印刷速度は高解像度の場合よりも速くなります。高解像度の場合は、従来の書体デザインへの適合性が高く、曲線や角が滑らかになりますが、印刷速度は遅くなります。このプリンタでは、600 dpi の解像度で出力が生成されます。解像度の値は、横のデータと縦のデータによって表されます。（例：600 dpi × 600 dpi）

カラーマッチング

スキャナで読み取った色の範囲が、ディスプレイで表現できる色の範囲と一致しないことがあります。また、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に色が異なることがあります。このような問題を改善して、ディスプレイやプリンタの色を、スキャンした色と一致させるようにするのがカラーマッチングです。

ガンマ補正

画像の明るさを変える方法です。画像のいちばん暗い部分と明るい部分は変えずに、中間調の部分を中心に明るさを変えるので、コントラストを保ったままで明るさを変えることができます。

キロバイト（KB）

２進数の 1024 バイトを表す単位です。プリンタやコンピュータのメモリサイズを 1000 バイト単位で表すときに使用します。

グレースケール画像

黒／白ではなく、グレーの階調として各ドットを保存するビットマップ画像です。

クロップ（crop）

画像の一部分を選択する動作のことです。ScanGear MF のツールバーにあるクロップボタンを使用し、プレビュー画像の一部分を選択して、その部分だけを再度プレビューしたり、スキャンできます。

原稿台ガラス

原稿読み取り部のことです。

原稿の向き

紙の幅（横）または高さ（縦）に沿って原稿が送られる方向のことです。

コントラスト

画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差を表します。コントラストを下げると、暗い部分が明るくなり、明るい部分が暗くなります。コントラストを上げると、暗い部分がさらに暗くなり、明るい部分がさらに明るくなります。

コントロール パネル

システム、ハードウェア、ソフトウェア、および Windows の設定を変更するときに使用する Windows プログラム群です。

さ行

再インストール

インストールしてあったソフトウェアをいったん削除（アンインストール）して、再度インストールすることです。

スキャナとカメラフォルダ（スキャナとカメラのプロパティ画面）

スキャナやカメラなどの画像用デバイスについての情報が含まれているフォルダ、または画面のことです。

スキャナドライバ

スキャナを制御するためのソフトウェア。本製品には TWAIN ドライバと WIA ドライバ（Windows XP 用）が付属しています。

た行

縦

縦向きにスキャンすることです。紙の短辺の端から端へテキストと画像がスキャンされます。

デスクトップ

Windows の作業領域を表す Windows 画面全体のことです。Windows デスクトップ上には、アイコン、ウィンドウ、およびタスクバーが表示されます。

ドット

画像は縦横に並ぶ点の集まりでできています。この点をドットと呼びます。スキャナで原稿を読み取るとき、1 インチあたり何ドットの細かさで読み取るかという設定値を解像度といい、dpi（dots per inch ＝ドット・パー・インチ）という単位で表します。

ドライバ

コンピュータで周辺機器を制御するためのプログラム。プリンタドライバなどのようにフォントやプリンタの機能を制御するプログラムをコンピュータのシステムに提供します。

な行

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段、およびソフトウェアを使って接続されているコンピュータ群です。ソフトウェアにより、ネットワーク上のコンピュータは（プリンタなどの）装置の共有や情報の交換が行えます。

は行

ビット、ビット数

1 ビットの画像は、画像の明暗をあるレベル（しきい値）で白と黒に分割し、白と黒の 2 色だけで表現します。

8 ビットのグレースケール画像は、画像を白黒 256 段階で表現します。

24 ビットのカラー画像は、赤、緑、青各色を 256 段階（8 ビット）、1 ドットを約 1670 万色で表現します。

ピクセル

画素（picture element）のことで、画像イメージを作り上げる最小単位です。

標準設定

他の設定値が何も指定されていない場合に自動的に使用される設定のことです。

フォルダ

ドキュメント、プログラムファイル、および他のフォルダが保存されるディスク上の保管場所のことです。ディレクトリとも呼ばれています。

プレビュー

実際に画像を読み込む前に、どのようにスキャンされるかを画面に表示したものです。プレビューがスキャンしたいイメージと違うときは、設定を変えてもう一度プレビューを表示し確認します。

プレビューエリア

ScanGear MF のメインウィンドウの左側の領域です。［プレビュー］ボタンがクリックされると、スキャナ上の画像をスキャンし、このエリアにプレビュー画像を表示します。この段階ではまだアプリケーションソフトにスキャン画像は渡されていません。

プロパティ画面

スキャナなど、特定のデバイスに関する情報を含む画面です。

ま行

マイ コンピュータ

コンピュータのファイルシステムをざっと見たり、ドライブ、フォルダ、およびファイルを開いたりするときに使用する Windows アプリケーション。［マイ コンピュータ］は、アイテムの移動、コピー、名前変更、および削除など、ファイルやファイルシステムの管理に使用することもできます。

マルチページ PDF

スキャンした複数の原稿を 1 つの PDF ファイルに保存します。それぞれの原稿が PDF ファイルの 1 ページになります。

明度

明るい領域と暗い領域の相対的な比率のことです。明度を下げると画像全体が暗くなり、明度を上げると画像全体が明るくなります。

メガバイト（MB）

100 万バイトを表す単位のことです。プリンタやコンピュータのメモリサイズを表すときに使用します。

モアレ低減

点と点とが干渉を起こし、画像に濃淡のムラや縞模様があらわれる現象を「モアレ」といいます。本や雑誌に印刷されている写真や絵を低解像度でスキャンするときに起こることがあります。このモアレを低減する機能が「モアレ低減」です。

や行

横

横向きにスキャンすることです。紙の長辺の端から端へテキストや画像がスキャンされます。

ら行

ランダムアクセスメモリ（RAM）

コンピュータの作業メモリで、使用中のプログラムやデータが一時的に保存される場所です。コンピュータをリセットまたはシャットダウンすると、RAM 内の情報はすべてクリアされます。非常に複雑なドキュメントを印刷する場合は、実行中の他のプログラムを終了するか、またはコンピュータに RAM を増設する必要があります。

索引

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号） **050-555-90024**

[受付時間] 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

USRM1-0463-00